

年末年始の業務のお知らせ

市役所などでは、例年どおり年末から年始にかけてお休みとなります。年末には、窓口などが大変混雑しますので、ご用のある場合は早めに済ませていただくよう、ご協力をお願いします。

総務課
平元主事補



年末年始の施設の休業日

施設名	休業日・休館日	問合せ
市役所	12月28日(土)～平成26年1月5日(日) ※12月28日(土)と平成26年1月4日(土)の土曜開庁は通常通り実施します。	総務課 ☎786-3211
公民館	12月29日(日)～平成26年1月3日(金) ※予約・申請などの受付は、12月28日(土)～平成26年1月6日(月)まで休業です。	桶川公民館 ☎772-3888
図書館：市立図書館 川田谷分室 駅西口図書館	12月28日(土)～平成26年1月4日(土) ※本の返却は、ブックポストをご利用ください。ただし、CDの返却は、直接窓口へお願いします。	市立図書館 ☎771-0303 駅西口図書館 ☎786-6353
歴史民俗資料館	12月27日(金)～平成26年1月5日(日) ※12月10日(火)～13日(金)は展示準備のため臨時休館します。開館は、12月14日(土)午前9時からです。	歴史民俗資料館 ☎786-4030
◆桶川サン・アリーナ ◆総合運動場 ◆舎人スポーツパーク ◆新小針領家グラウンド (A面・B面)	12月29日(日)～平成26年1月3日(金) ※受付も休業となりますので早めの手続きにご協力をお願いします。 なお、平成26年3月29日(土)～31日(月)分の予約受付開始日は12月28日(土)、平成26年4月1日(火)～3日(木)分の予約受付開始日は平成26年1月4日(土)となります。	(公財)桶川市施設管理公社 (桶川サン・アリーナ内) ☎787-5111 舎人スポーツパーク ☎728-7510
勤労青少年ホーム (さくらフレンド)	12月29日(日)～平成26年1月3日(金)	勤労青少年ホーム ☎728-3393
老人福祉センター	耐震補強工事のため、平成26年3月31日まで休館	老人福祉センター ☎728-1122
施設名	12月・年末年始の休館日	問合せ
桶川市民ホール さいたま文学館	2日(月)・9日(月)・16日(月)・24日(火)・29日(日)～平成26年1月3日(金)	(公財)けやき文化財団 ☎789-1113
桶川市べに花ふるさと館	2日(月)・9日(月)・16日(月)・24日(火)・29日(日)～平成26年1月3日(金)	桶川市べに花ふるさと館 ☎729-1611

年末年始のし尿の汲み取り

し尿の汲み取りについては、年内は12月27日(金)まで行い、年明けは、1月6日(月)から平常どおり行います。※年内に臨時の汲み取りが必要な家庭は、12月27日(金)までに、市の委託業者である青木清掃(株) ☎775-1551へ直接連絡してください。問合せは上尾、桶川、伊奈衛生組合 ☎728-60071

年末年始のごみ収集業務のお知らせ

問合せ▶環境センター☎728-1902

区分	JR高崎線の東側地区		JR高崎線の西側地区		備考
	本年の最終日	翌年の初日	本年の最終日	翌年の初日	
燃やせるごみ	12月29日(日)	1月4日(土)	12月30日(月)	1月5日(日)	●12月31日から平成26年1月3日までの期間は、収集業務は休みとなります。 ●ごみは計画的に出し、年末年始に集中しないようにご協力をお願いします。 ●ごみを出す前に分別表をよく見て、決められたものを決められた日に出してください。
プラスチックごみ	12月25日(火)	1月7日(火)	12月26日(水)	1月9日(木)	
金属・ガラス・乾電池ごみ	12月27日(金)	1月17日(金)	12月24日(火)	1月6日(月)	
その他のごみ	12月18日(水)	1月22日(水)	12月16日(月)	1月20日(月)	
古着・新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パック	12月21日(土)	1月5日(日)	12月28日(土)	1月11日(土)	
紙製の容器と包装紙	12月20日(金)	1月10日(金)	12月11日(水)	1月8日(水)	

12月のごみ収集日程表

※ごみは朝8時までに出示し、雨天の場合は、古着の排出は控えてください。
※買入物はマイバッグを使用しましょう。※レジ袋はごみ袋として使用できません。

	燃やせるごみ	古着・新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パック	紙製の容器と包装紙	プラスチック	金属・ガラス・乾電池	その他
高崎線東側	2・5・9・12・16・19・24・26・29	7・21	6・20	3・10・17・25	13・27	18
高崎線西側	3・6・10・13・17・20・25・27・30	14・28	4・11	5・12・19・26	9・24	16

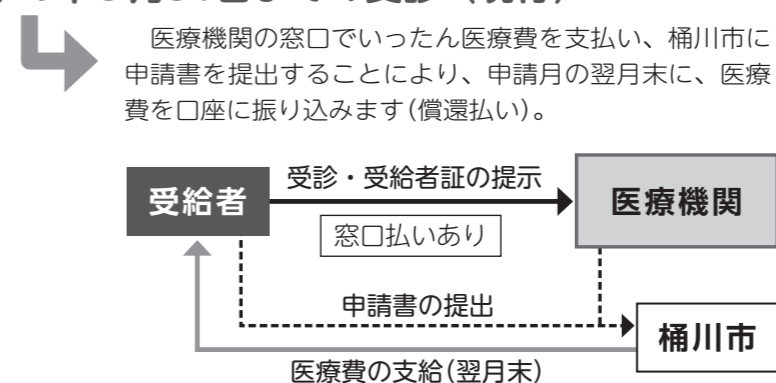
※年末の環境センターのごみの搬入は、12月27日(金)までです。

※12月28日(土)午前8時30分～11時30分は、粗大ごみ(有料)のみ受け入れを行っています。

平成26年4月から福祉3医療費の窓口払いが一部廃止となります

平成26年4月診療分から、福祉3医療費(子ども医療費・ひとり親家庭等医療費・重度心身障害者医療費)の受給者が市内の医療機関などで受診する際、一定の条件に該当する場合は、窓口での医療費(保険診療の自己負担分)の支払いを廃止します。制度の詳細は、平成26年3月号の広報でお知らせします。

平成26年3月31日までの受診(現行)



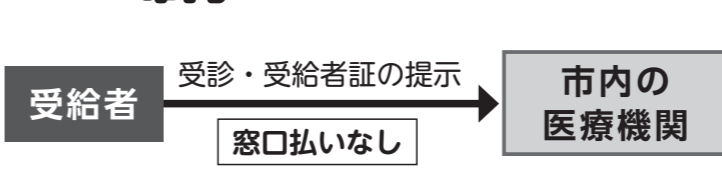
手洗い、うがい
マスクをつけて
かぜ予防!



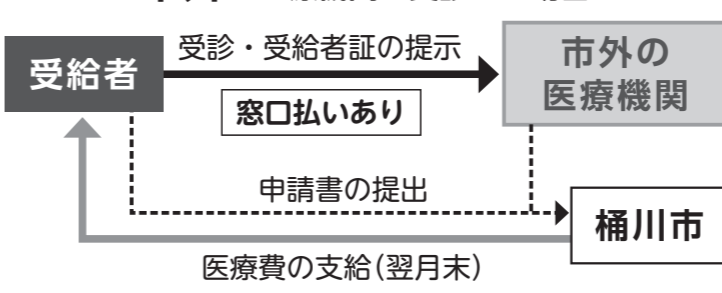
平成26年4月1日以降の受診

市内の医療機関を受診した場合は、医療機関の窓口で医療費を支払う必要はありません(現物支給)。

市内の医療機関を受診した場合



市外の医療機関を受診した場合



※次の場合は、医療機関の窓口で医療費を支払う必要があります。
▶保険証・受給者証を忘れた
▶一医療機関での同月内の累計自己負担金額が21,000円以上となった
▶市外の医療機関を受診した

※保険適用外分(健康診断・予防接種など)については、福祉3医療費の支給対象外ですので、窓口払いが発生します。

詳しくは☎子ども支援課・障害福祉課

平成24年度 決算 このように 使われました

市では、皆さんが納めた税金の使われ方をお知らせするために、毎年7月と12月に財政状況を公表しています。今回は、平成24年度決算の概要と平成25年度上半期(平成25年4月1日～9月30日)の予算執行状況についてお知らせします。

問合せ 財政課

《平成24年度決算の概要》

一般会計

平成24年度の一般会計予算は、当初予算で歳入歳出とも201億8,200万円を計上しましたが、その後6回の補正を行い、最終予算額は210億903万1千円となりました。平成23年度から継続している事業費が5億6,395万5千円あり、そのうち、それを加えると、最終的に215億7,298万6千円の予算現額となりました。

この予算に対する決算額は、歳入206億6,579万2千円、歳出199億1,415万8千円で、差し引き7億5,163万4千円の形式収支となり、このうち平成25年度へ継続事業分として繰り越す財源6,644万2千円を差し引き、6億8,519万2千円の実質収支となりました。

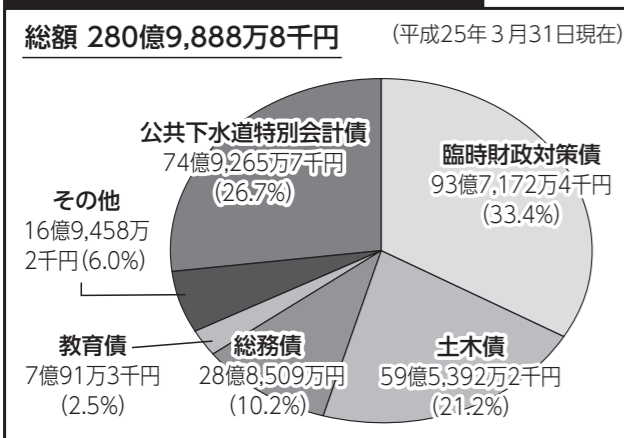
特別会計

特別会計とは、国民健康保険や公共下水道事業など特定の事業を行うため、一般会計と区分して経理される会計です。四つの特別会計の決算額は歳入144億8,888万9千円、歳出139億6,247万3千円であり、差し引き5億2,641万6千円の形式収支となりました。会計別の決算状況は、表のとおりです。

特別会計歳入歳出決算

区分	予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引
国民健康保険特別会計	8,159,206	8,304,141	7,978,963	325,178
公共下水道事業特別会計	1,822,806	1,685,147	1,597,122	88,025
介護保険特別会計	3,802,288	3,778,745	3,666,817	111,928
後期高齢者医療特別会計	723,371	720,856	719,571	1,285
合計	14,507,671	14,488,889	13,962,473	526,416

地方債(未償還元金)現在高



公有財産

(平成25年3月31日現在)

区分	土地(m ²)	建物(m ²)
庁舎	2,990.57	3,253.45
消防施設	1,242.80	640.15
その他の施設	14,378.02	5,310.33
学校	254,375.93	78,802.00
公園	215,026.62	571.61
その他の施設	221,243.45	44,362.52
普通財産	163,666.04	1,281.70
合計	872,923.43	134,221.76

財政の健全化判断比率及び資金不足比率を公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成24年度決算に基づき算定された財政の健全化判断比率および資金不足比率について、次のとおりお知らせします。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、赤字額や資金不足額が生じない場合は数値ではなく、「-」で表示されます。

1. 健全化判断比率

区分	桶川市	⑥早期健全化基準	⑦財政再生基準
①実質赤字比率	-	12.94%	20.0%
②連結実質赤字比率	-	17.94%	30.0%
③実質公債費比率	6.7%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	24.1%	350.0%	-

2. 資金不足比率(公営企業会計)

区分	会計名	桶川市	⑧経営健全化基準
⑤資金不足比率	公共下水道事業特別会計	-	20.0%

- #### 用語の説明
- ①実質赤字比率
一般会計(主に税金を活用して行う福祉、道路、教育などの事業)における赤字の大きさを示しています。黒字の場合は、「-」で表示します。
 - ②連結実質赤字比率
市全体の赤字の大きさを示しています。黒字の場合は、「-」で表示します。市全体の財政状況を判断することができます。
 - ③実質公債費比率
市全体の借入金などの今年の返済額の大きさを示しています。家計に例えると、収入のうち借金の返済にどの程度充てているかを表すものです。
 - ④将来負担比率
借入金の残高など今後支払わなければならないものの大きさを示しています。家計に例えると、借金などの負債が標準的な年収の何年分あるのかを表しています。

- ⑤資金不足比率
公営企業(桶川市は、公共下水道事業特別会計が該当します。)の資金不足額の事業規模に対する比率です。資金不足がない場合は、「-」で表示します。
- ⑥早期健全化基準
財政状態として注意が必要な基準。健全化判断比率の1つでも早期健全化基準を上回ると、議会の議決を経て財政健全化計画の策定が義務付けられます。
- ⑦財政再生基準
市としての再生が必要な基準。財政再生基準を上回ると、議会の議決を経て財政再生計画の策定が義務付けられます。
- ⑧経営健全化基準
早期健全化基準に相当するもので、公営企業の資金不足比率がこの基準を上回ると、経営健全化計画の策定が義務付けられます。

一般会計歳入決算

区分	決算額(千円)
市税	10,059,123
国庫支出金	2,721,514
市債	2,312,407
地方交付税	2,033,942
県支出金	1,241,717
地方消費税交付金	611,955
諸収入	465,705
繰越金	375,218
使用料及び手数料	217,024
分担金及び負担金	204,717
地方譲与税	173,623
自動車取得税交付金	75,337
地方特例交付金	60,431
配当割交付金	22,194
利子割交付金	22,002
財産収入	19,424
寄附金	18,623
交通安全対策特別交付金	12,274
繰入金	12,144
株式等譲渡所得割交付金	6,418
合計	20,665,792

歳入

内訳は、表のとおりです。歳入のトップは市税で、歳入全体の約49%を占めています。以下、国庫支出金(国が市町村に使いみちを特定して、負担金、補助金などの名称で交付する)、市債(ある仕事をするために市町村がする借金で、返済が複数年度のもの)、地方交付税(国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税のそれぞれ一定割合額を国が交付する)、県支出金(県が市町村に使いみちを特定して、負担金、補助金などの名称で交付する)となっています。

一般会計における市民の税負担状況

平成25年3月31日現在 人口75,447人

市税	市民税	固定資産税	軽自動車税
10,059,123千円	4,863,231千円	3,966,065千円	85,292千円
133,327円	64,459円	52,568円	1,130円
	市たばこ税	都市計画税	特別土地保有税
	454,419千円	690,116千円	0円
	6,023円	9,147円	0円

都市計画税は、都市計画事業などの費用に充てることを目的とした市税で、市街化区域内の土地・家屋に対して課税されています。平成24年度は、市内で実施されている都市計画道路整備事業、土地区画整理事業、公共下水道整備事業などに使われました。

※上段は収入総額、下段は市民1人あたりの負担額

一般会計歳出決算

区分	決算額(千円)	市民1人あたりに使われた額(円)	区分	決算額(千円)	市民1人あたりに使われた額(円)
民生費	7,736,520	102,542	議会費	224,164	2,971
総務費	2,685,034	35,588	農林水産業費	148,078	1,963
土木費	2,445,601	32,415	労働費	111,179	1,474
公債費	2,063,301	27,348	商工費	84,627	1,122
教育費	1,844,082	24,442	災害復旧費	22,137	293
衛生費	1,536,511	20,365	合計	19,914,158	263,949
消防費	1,012,924	13,426			

歳出

内訳は、表のとおりです。(左欄は支出総額、右欄は市民1人当たりの金額)歳出のトップは、民生費(社会保障費や児童福祉などの経費)、次に総務費(コミュニティ推進、市民安全対策などに関する経費)や土木費(道路、土地区画整理や公園などの都市基盤整備を行うための経費)となっています。

平成25年度上半期 一般会計歳入歳出状況

歳入		予算現額(千円)	上半期収入済額(千円)	収入率(%)
区	分			
市	税	9,805,152	3,917,287	40.0
地方譲与税		178,000	47,542	26.7
利子割交付金		22,000	9,640	43.8
配当割交付金		18,000	7,430	41.3
株式等譲渡所得割交付金		5,000	0	0.0
地方消費税交付金		590,000	351,886	59.6
自動車取得税交付金		55,000	20,930	38.1
地方特例交付金		60,277	60,277	100.0
地方交付税		1,831,673	1,272,278	69.5
交通安全対策特別交付金		12,500	6,451	51.6
分担金及び負担金		238,146	89,963	37.8
使用料及び手数料		212,835	130,275	61.2
国庫支出金		3,291,771	1,235,439	37.5
県支出金		1,127,407	225,011	20.0
財産収入		35,933	61,138	170.1
寄附金		32	208	650.0
繰入金		584,652	0	0.0
繰越金		409,037	409,037	100.0
諸収入		374,673	85,848	22.9
市債		3,142,492	0	0.0
合計		21,994,580	7,930,640	36.1

歳出		予算現額(千円)	上半期支出済額(千円)	執行率(%)
区	分			
議会	会費	221,401	114,515	51.7
総務	費	2,920,027	1,219,475	41.8
民生	費	8,321,195	2,900,254	34.9
衛生	費	1,628,284	574,990	35.3
労働	費	108,759	94,114	86.5
農林水産業	費	82,325	36,756	44.6
商工	費	130,152	62,545	48.1
土木	費	3,258,226	502,371	15.4
消防	費	989,965	456,840	46.1
教育	費	2,194,852	763,843	34.8
災害復旧	費	2	0	0.0
公債	費	2,111,853	1,033,640	48.9
諸支出金		1	0	0.0
予備費		27,538	0	0.0
合計		21,994,580	7,759,343	35.3

平成25年度 上半期特別会計歳入歳出状況

会計名	予算現額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)	支出済額(千円)	執行率(%)
国民健康保険特別会計	8,482,664	3,402,740	40.1	3,773,736	44.5
公共下水道事業特別会計	2,035,307	338,400	16.6	673,379	33.1
介護保険特別会計	4,141,172	1,626,560	39.3	1,674,860	40.4
後期高齢者医療特別会計	773,316	249,138	32.2	240,254	31.1
合計	15,432,459	5,616,838	36.4	6,362,229	41.2

平成25年度

上半期の
予算執行状況

上半期には、総合福祉センター耐震改修事業、川田谷小給食室整備事業、西側大通り線整備事業、住宅用新・省エネルギー機器設置費補助金など、さまざまな事業を展開しています。

問合せ 財政課

バランスシートを作成しました

市では、平成24年度の決算に基づき、これまでの市の行政活動によってどれだけの資産（道路や学校などの施設や土地など）を形成し、今後どれだけの債務（借金など）を負担していかなければならないのかを表したバランスシート（貸借対照表）を作成しました。

対象としたのは、平成24年度の普通会計であり、国民健康保険や下水道など特定の収入で特定の支出を賄う特別会計は除いています。

作成基準日は、平成24年度会計の末日である平成25年3月31日とし、左側には市が所有している資産を、右側には市が将来返済すべき負債をそれぞれ記入し、その差額（資産－負債）を純資産として、負債の下に記載しています。

バランスシート (平成25年3月31日現在) 人口 75,447人

資産 (将来の世代に残る財産)			負債 (将来の世代が負担する債務で、今後支払が見込まれる金額)		
	残高 (単位:千円)	市民一人当たり残高 (単位:円)		残高 (単位:千円)	市民一人当たり残高 (単位:円)
1. 公共資産					
(1) 生活インフラ	35,662,926	472,688	(1) 地方債	18,776,419	248,869
(2) 教育	21,600,520	286,301	(2) 長期未払金	806,475	10,689
(3) 福祉	1,628,503	21,585	(3) 退職給与引当金	3,338,340	44,247
(4) 環境衛生	2,249,645	29,818	固定負債合計	22,921,234	303,806
(5) 産業振興	1,819,702	24,119	2. 流動負債		
(6) 消防	321,572	4,262	(1) 翌年度償還予定地方債	1,829,812	24,253
(7) 総務	10,646,740	141,115	(2) 未払金	16,508	219
(8) その他	5,000	66	(3) 賞与引当金	187,694	2,488
公共資産合計	73,934,608	979,954	流動負債合計	2,034,014	26,960
2. 投資等					
(1) 投資及び出資金	286,194	3,793	負債合計	24,955,248	330,765
(2) 貸付金	1,736,862	23,021	純資産 (資産形成のため調達した資金で、返済の必要がないもの)		
(3) 基金等	3,644,079	48,300	1. 国県支出金等	12,585,212	166,809
(4) 長期延滞債権	162,708	2,157	2. 一般財源等	44,959,627	595,910
投資等合計	5,829,843	77,271	純資産合計	57,544,839	762,719
3. 流動資産					
(1) 現金預金			負債・純資産合計	82,500,087	1,093,484
① 財政調整基金	1,921,108	25,463			
② 歳計現金	751,634	9,962			
現金預金計	2,672,742	35,425			
(2) 未収金	62,894	834			
流動資産合計	2,735,636	36,259			
資産合計	82,500,087	1,093,484			

注) 数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

道路、学校、公園など建設的な事業に使われたお金の総額です。建物などは減価償却(価値を見直す)をしています。土地は、買った時の価格で計上しています。

けやき文化財団、桶川市施設管理公社など関係団体への出資金や庁舎建設などの特定の目的のために積み立てている資金です。

現金などのほか、必要なときにすぐに現金化できる基金や市税など市に収めてもらうお金のうちまだ収入されていないものです。

これまでに道路や公園、学校などを建設するための財源として、市が国や銀行などから借りてお金の残高です。

年度末に在職する職員が全員退職。年度末に実際に退職した職員を除くとした場合の退職金の推計値です。

これまでに道路や公園、学校などを建設するために使ったお金のうち、国や県から補助金としてもらったものや、税金などのお金の総額です。

バランスシートの概要

【総括】

「資産」は、約825億円で、これに対応するものとして将来返済が必要な「負債」が約250億円、返済を要しない「純資産」が約575億円となっています。「資産」に対する割合は「負債」が約3割、「純資産」が約7割となっています。学校や道路などの社会資本を現在までの世代が負担している割合が約7割ということになります。

【資産】

これまでに市が取得・整備してきた土地や施設、現金や預金などの資産の状況を表しています。これは、市民の財産として将来にわたって行政サービスを提供するものです。

【負債】

将来にわたって返済しなければならぬ地方債(市の借金)などの負債を表しています。負債は、平成26年度以降に支払う固定負債と平成25年度に支払わなければならない流動負債を合せて約250億円となっています。

【純資産】

資産を形成するために調達した資金のうち、これまでに皆さんが負担し、将来返済の必要がないお金を表しています。国・県からの補助金や市民の皆さんから納めていただいた税金などを一般財源などに分類しています。

注) このバランスシートは「総務省方式改訂モデル」に基づき作成しました。